



第44回 毎日こどもピアノコンクール 本選会・中学校の部

審査員講評

く どう ま き こ
工藤真樹子先生 (当番審査員)



中学生の皆さん、本当にお疲れさまでした。

勉強や部活などで毎日が慌ただしい中、それでもピアノを続け、この本選会に向けて練習を積み重ねてきたことに心からの拍手を送ります。

そして、日々の練習を支え、励ましてくださった保護者の皆さま、ここまで導いてこられた指導者の先生方にも、感謝と敬意をお伝えします。

<課題曲について>

毎日こどもピアノコンクールでバッハが課題曲に選ばれている理由は、「ポリフォニー」を学ぶためです。ポリフォニーを演奏するには、複数の旋律を同時に奏で、それぞれの「横の流れ」（旋律）と「縦の響き」（和声）を感じ取り、弾き分ける力が求められます。

ピアノは、一人で複数のパートを演奏する“アンサンブル楽器”です。たった10本の指と一つの頭と心で、音色・強弱・遠近感をコントロールし、複数の旋律を同時に響かせます。これは他の楽器にはない難しさであり、同時にピアノ演奏の大きな魅力でもあります。

バッハを弾く際は、まず「どこからどこまでが一つのフレーズか」「その中で頂点となる音はどこか」「テーマはどこから始まり、どこまで続くのか」を見極めます。

さらに、多声部を奏でる中で、瞬間ごとに生まれる「縦の調和」、ハーモニーの美しさに耳を傾けます。

調性やハーモニーがどのように変化していくのか、その移り変わりがどんな物語を紡いでいるのかを読み解くことで、短い曲の中にも驚くほど豊かな世界が広がっていることに気付けるとと思います。

今回の本選会でその片鱗を見せてくれた皆さんの今後の演奏が、ますます深みと輝きを増していくことを楽しみにしています。

結果はもちろん大事ですが、それ以上に、今日までの練習の中で得た発見や感動、音楽と向き合った時間こそが何よりの宝物です。

今回の経験が、これからの演奏にさらに彩りを与え、皆さんの音楽人生がさらに輝いていくことを願っています。